



しいの実

第9号

鈴鹿市立鈴西小学校

学校教育目標「夢と笑顔と緑がいっぱいの学校」

■ 食育授業

今年度は、神戸小学校の竹村先生にお世話になり、食育(食に関する教育)の授業を実施していただいています。一学期の間に全学年を対象にいろいろな内容で教えていただきました。

7月14日は一学期最後の食育。4年生が対象でした。本時の内容は「考えて飲み物を選ぼう」でした。私たちの身の回りにはさまざまな飲み物があり、暑い時期である今は、水分を摂取することはとても大切なことです。一方で、その成分にはあまり気を使っていないのではないのでしょうか。今日は、それらの成分の中でも「砂糖」に着目しました。多くの清涼飲料水やスポーツドリンクには1日に必要とされる20gの砂糖を大きく上回る量の砂糖が含まれています。500mLのそれらの飲み物には2倍から3倍近くの砂糖があるそうです。砂糖を取りすぎることによって、病気(むし歯や成人病)になりやすくなるだけでなく、イライラしやすくなるそうです。上手に飲むために「コップに入れて飲む」ことで飲みすぎを防げることも教えていただきました。考えて飲み物を選んで、夏を元気に過ごしてください。

■ 5年生 お米の生長確認会 ～稲作特別授業～

7月14日(金)、農業法人クマダの方に来ていただき、5年生に稲作の特別授業をしていただきました。5月に植えた苗が順調に生育しており、青々とした葉を茂らせていました。題して「お米の生長確認会」。

まずはお米の話をお聞きしました。普段自分たちが食べているのは日本型(ジャポニカ米)と呼ばれるお米です。他にはインド型、ジャワ型等があり、世界中で最も多く栽培されているのはインド型であると知って、子どもたちは「えー!？」と驚いていました。米の収穫量が多い都道府県はどこか問われ、子どもたちは「山形県」「北海道」「新潟県」といった北海道・東北地方の都道府県を答えることができました。社会科で日本の農業について学習したことが生かされていました。日本で生産されているお米の品種・銘柄ランキングや、三重県が生産量第1位のものであれば何か等、クイズ形式で楽しく教えていただきました。そして、今年植えたのは「結びの神」という品種だと聞きました。

次に、米の育て方について話を聞きました。特



に大切なのは水の管理で、稲の生長具合が大きく変わるほど重要だと知りました。そして、「幼穂」と呼ばれる稲穂(米)になる器官を観察することで、出穂までの日数を予測し、適切な水の管理をしながら育てていくことを教えていただきました。

「じゃあ、実際に、自分の目で幼穂を見てみよう」と、稲を渡してもらい、カッターナイフで切って、茎・葉の中にある幼穂を探しました。最初はどこにあるのかが分からず、輪切りにしてしまった子もいました



教頭先生も挑戦中

が、「失敗しても大丈夫。たくさんあるよ」と声をかけてもらい、楽しく幼穂探しにチャレンジすることができました。葉の向きにそって縦方向にカッターナイフを入れていけば中にある幼穂が見つかることが分かり、次々に「あった!」「見つかった!」と歓声が上がりました。なかなか見つけれなかった子も「自分で見つけたい」と最後までがんばって探していました。小さなものもあれば、かなり大きく成長している幼穂もありました。二学期に、豊かに稔った米を収穫させてもらうのが楽しみです。



■ インターネットの正しい使い方



夏休みを前に6年生が「インターネットの正しい使い方」について、市教育委員会教育支援課の佐野川先生から指導を受けました。

ネットゲームでの友達とのスタンプでの交流や掲示板への書き込み、SNSへの写真をアップする場合などについて具体的な例を動画で見ながら、どのようにすれば防ぐことができるのか、なぜトラブルになったのかなどを話し合いました。

インターネットを利用した交流は顔が見えないことで気持ちがすれ違い、誤解を生じる可能性が高いこと、掲示板に不適切な内容を軽い気持ちで書き込んでしまい、大きなトラブルにつながってしまうことなどを知りました。

SNSにアップしようとした、たった1枚の写真の中にいくつものリスクがあったのですが、6年生の子どもたちは、そのすべてに気づくとともに理由も言えたことに驚きました。これまでの学習やご家庭での指導が活かされているなあと感じました。

市内でもインターネットに関する多くのトラブルがあるようです。長い夏休み中にトラブルにあわないよう、今日教えていただいた、インターネットを使うときは「①立ち止まる②どうすればいいか、考える③困ったときは、相談する」の3つに気を付けてほしいと思います。保護者の方もスマートホンやゲーム機の使い方について注意してあげてください。

